

エアコン付温水床暖房

据 付 説 明 書




二次元バーコードは製造用コードです。

安全上のご注意


- 据付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく据え付けてください。
ここに示した注意事項は、次の2種類に分類しています。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。


| | | | |
|---|--|---|---|
|  警告 | 誤った据付けにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。 |  注意 | 誤った据付けにより、傷を負う可能性、または物的損害の可能性があるもの。状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。 |
|---|--|---|---|

- 本文中に使われる「絵表示」の意味は次の通りです。

| | | |
|--|---|---|
|  指示を守る |  アース線接続 |  禁止 |
|--|---|---|

- 据付工完了後および各種設定確認後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。

|  警告 | |
|--|--|
| ●据付けは、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。 <small>(水漏れや感電、火災の原因)</small> | ●エアコンおよび床暖房ユニットの設置や移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒(R410A)以外の空気などを混入させない。 <small>(空気などが混入すると、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂やけがなどの原因)</small> |
| ●据付工事は、必ず付属品および指定の部品を使用し、この据付説明書に従って確実に行う。 <small>(ユニットの落下や水漏れ、感電、火災の原因)</small> | ●指定冷媒(R410A)以外は使用しない。 <small>(機器の故障や破裂、けがなどの原因)</small> |
| ●据付けは、質量に十分耐える所に確実に行う。 <small>(ユニットの落下によるけがの原因)</small> | ●ポンプダウン作業では、冷媒配管を外す前に圧縮機を停止する。 <small>(圧縮機を運転したまま、かつ閉鎖弁(バルブ)開放状態で冷媒配管を外すと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂やけがなどの原因)</small> |
| ●電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。 <small>(感電や火災の原因)</small> | ●据付作業では、圧縮機を運転する前に、確実に冷媒配管を取り付ける。 <small>(冷媒配管が取り付けられておらず、かつ閉鎖弁(バルブ)開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂やけがなどの原因)</small> |
| ●据付工事は、必ず電源を切って行う。 <small>(電気部品に触れると感電の原因)</small> | ●作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気し、据付工完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。 <small>(冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因)</small> |
| ●アース工事は、必ずD種接地工事をを行う。 アース線は、ガス管や水道管、避雷針、電話のアース線に接続しない。 <small>(感電や火災の原因)</small> | ●配管・フレアナット・工具はR410A専用のものを使用する。 <small>(既存冷媒(R22)の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷凍サイクルの破壊などの重大な事故の原因)</small> |
| ●漏電しゃ断器を取り付ける。 <small>(感電や火災の原因)</small> | ●フレアナットはトルクレンチなどで指定の方法で締め付ける。 <small>(締め過ぎると、長期経過後フレアナットが割れ冷媒漏れの原因)</small> |
| ●配線を途中で接続しない、電源コードを束ねない、より線や延長コードの使用、タコ足配線はしない。 <small>(発熱や感電、火災の原因)</small> | ●可燃性のもの(ヘアスプレーや殺虫剤など)は本体の近くで使用しない。 <small>(ひび割れや感電、引火の原因)</small> |
| ●室内、床暖房ユニットと室外ユニット間および電源の配線は、所定の電線を用いて確実に接続し、端子部に電線の外力が加わらないよう確実に固定する。 <small>(発熱や感電、火災の原因)</small> | ●不凍液を乳幼児・お子様の手の届くところへ置かない。 <small>(健康を害するおそれ) 万一飲んだ場合は、すぐに吐かせて医師の診断を受けてください。</small> |
| ●室内、床暖房ユニットと室外ユニット間および電源の配線は、閉鎖弁カバー、電装品カバーおよび天板などの構造物が浮き上がらないよう電線を成形し、カバーおよび天板を確実に取り付ける。 <small>(カバーおよび天板の取付けが不完全な場合、端子部の発熱や感電、火災の原因)</small> | |

|  注意 | |
|---|--|
| ●可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へは据え付けない。 <small>(発火の原因)</small> | ●運転中や停止直後に給水タンクのふたを開けない。 <small>(循環水が飛び散ってやけどの原因)</small> |
| ●ドレン工事は、この据付説明書に従って確実に排水するように配管する。 <small>(屋内に浸水し、家財などをぬらす原因)</small> | ●室内外ユニットの吸込口やアルミフィンに触らない。 <small>(けがの原因)</small> |
| ●室外ユニットの天板を外すときは強くにぎらない。 <small>(鋭利な板金によりけがの原因)</small> | ●室外ユニットは、小動物のすみかになるような場所には据え付けない。 <small>(小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙、発火の原因) お客様に周辺をきれいに保つことをお願ひしてください。</small> |

US001

据付場所の選定

- 下記断熱が施された住宅であることを確認してください。

| 適用地域 | 年最低気温がおおむね -5℃以上の地域 | 年最低気温がおおむね -20℃以上の地域 |
|---------|---------------------------|------------------------------|
| 住宅の断熱仕様 | 新省エネルギー (平成4年) 基準以上 | 次世代省エネルギー (平成11年) 基準以上 |

- 数値率が不足する場合は、補助暖房を設置してください。
- 年最低気温が-10℃を下回る地域や、昼間も0℃以下の気温が数日続く地域、凍結が頻繁に起こるような地域は指定の不凍液を使用してください。
- 温水パイプ部分で凍結しないよう、地域の気象条件に合わせて断熱を増すが、凍結のおそれのない場所に設置してください。

- 据付場所は、お客様の同意を得て決定してください。

ワイヤードリモコン

- ワイヤードリモコンの据付説明書をご覧ください。

床暖房パネル

- 指定されたお部屋に敷設してください。

室外ユニット

- 室外ユニットの振動・質量に耐え、運転音が増大しないしっかりした所。
- 各ユニット据付図の据付所要スペースで示す据付制約が守れる所。
- 排水されたドレン水が流れても問題のない所。
(室外ユニットからドレン水が出ます。)
- 吸込口・吹出口に障害物のない所。
(降雪地では、雪でふさがれない所や雪を直接吸い込まない所。)

- 雨、直射日光があたりにくく、風通しのよい所。
- 消防法および都道府県の条例などを満足する所。
- 可燃性ガスの漏れるおそれのない所。
- 吹出側正面から強風が連続的に吹き付けない所。
(ファンが高速で逆回転し、破損するおそれがあるため。)
- 海岸地域など塩分が多い所、硫化ガス成分が多い所、機械油など油の蒸気が発生する所では、室外ユニットの寿命が短くなる場合があります。
- 運転音や冷温風が隣家の迷惑にならない所。
(特に隣家との境界線では、環境基本法第16条に基づき騒音に係る環境基準および都道府県の条例などを満足すること。)
- テレビ、無線機などのアンテナより3m以上間隔を取れる所。

据付工事のポイント

室外ユニット・床暖房ユニット

| 工事ポイント | 記載箇所 |
|--|---------------------------------|
| ●床暖房ユニットは、室外ユニットの上に重ねて設置します。 | Step1 床暖房ユニットの据付け 1 床暖房ユニットの据付け |
| ●床暖房ユニットと室外ユニットとの配管接続には付属の連絡配管を使用します。 | Step1 床暖房ユニットの据付け 2 冷媒配管の接続 |
| ●床暖房パネルの温水パイプは、地域に合った断熱を施してください。 | 据付場所の選定 各ユニット据付図 |
| ●床暖房パネルの温水パイプは、系統1から順に接続します。 | Step3 温水パイプの接続 |
| ●タンクへの給水時は、やかん等を使用して、電装品に水がかからないよう注意してください。 | ⑥給水運転① |
| ●エアバージを行う場合、必ず真空ポンプを使用する方法をお願いします。 | Step2 室外ユニットの据付け 3 エアバージとガス漏れ確認 |
| ●移設をする場合は必ずポンプダウンを行って、室外ユニットへ冷媒を回収してください。 | Step2 室外ユニットの据付け ポンプダウン運転について |
| ●本機は、 200V専用室外電源機 です。 電源電圧に注意し、電源仕様を確認の上、配線工事を行ってください。 | Step4 室外ユニットの配線工事 |
| ●必ず漏電しゃ断器の取付け、D種接地工事を行ってください。 | |
| ●電源ブレーカーを入れた後に、メインリモコンで初期設定を行ってください。 | ①電源投入 |
| ●冬期にお客様への引き渡しまでに、電源ブレーカーを切られる場合には、必ず水抜きを行ってください。また、引き渡し時には給水してください。 (指定不凍液を使用の場合は、水抜きを行わないでください。) | 取扱説明書「長期保管わないとき」参照 |
| ●室内ユニット冷媒配管の最大許容長さは20m以下です。冷媒の追加充てんは不要です。 | 各ユニット据付図 |

床暖房用部材

- 床暖房用部材の施工方法は、各種床暖房パネルに付属の工事説明書をご参照ください。

床暖房用部材工事のポイント

- 床暖房パネルと床材が、カタログなどに記載の推奨品であることを確認してください。
推奨品以外の場合は、暖まりが悪くなったり、床材にすき間やひび割れが生じたり、指定の不凍液の影響で温水パイプが劣化することがあります。
- 床暖房の能力を十分に発揮させるためには、床暖房パネルの面積は床面積の70%が標準で、最低60%以上は必要です。
- 木質フローリングの方向によって、床暖房パネルを敷く方向が決まります。木質フローリングの方向と床暖房パネルの小根太の方向とが直交するように、床暖房パネルを敷いてください。
- 床暖房パネルの小根太部以外には、絶対に木ネジや釘などを打たないでください。パイプを損傷し、水漏れの原因となります。
- 施工時および養生時に床暖房パネル表面や温水パイプを傷つけないでください。
- 温水パイプには粘着テープ(ガムテープ、ビニルテープなど)や塩ビ系樹脂(リモコンコード、電源コードなど)を接触させないでください。パイプが劣化します。
- 温水パイプは直射日光があたらないように施工・養生してください。パイプが劣化します。
- 室外ユニットの据付け前に、床暖房パネルの指定の方法で床暖房パネルの漏れないことを確認してください。気密テストはゲージ圧力196kPa(2kgf/cm²)で1時間以上行ってください。(できるだけ製品の据付け時まで、放置してください。)気密テストに水を使用する場合は、凍結に注意してください。

別 売 品

別 売 品

| 品 名 | 品 番 | |
|-------------|------|------------|
| リモコンコード(2芯) | 5m | KRCW301A05 |
| | 8m | KRCW301A08 |
| | 12m | KRCW301A12 |
| | 20m | KRCW301A20 |
| | 50m | K-RW2050A |
| | 100m | K-RW2100A |

- 5~20mはY端子付きです。リモコン側はY端子をカットして使用願います。
- 必要な距離に応じて、該当するリモコンコードを用意してください。
- 合計線長は50m以下にしてください。

床暖房用手配部材

- 別途下記の床暖房用部材が必要です。
 - ・床暖房パネル
 - ・温水パイプ
 - ・温水床暖房用ポリエチレン製CD管
(条件により断熱が必要です。)
 - ・CHジョイント
 - ・CHクリップ
 - ・CH止水栓
 - ・Lバンド
- 床暖房パネルによって異なります。詳しくは、カタログなどをご覧ください。

指定不凍液







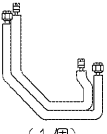



- 地域により必要です。
品番：KM-37
(同等品、ショーワ(株)製 M-37)

増設リモコン

- 2台のリモコンで操作する場合に必要です。
品番：KRC986A1

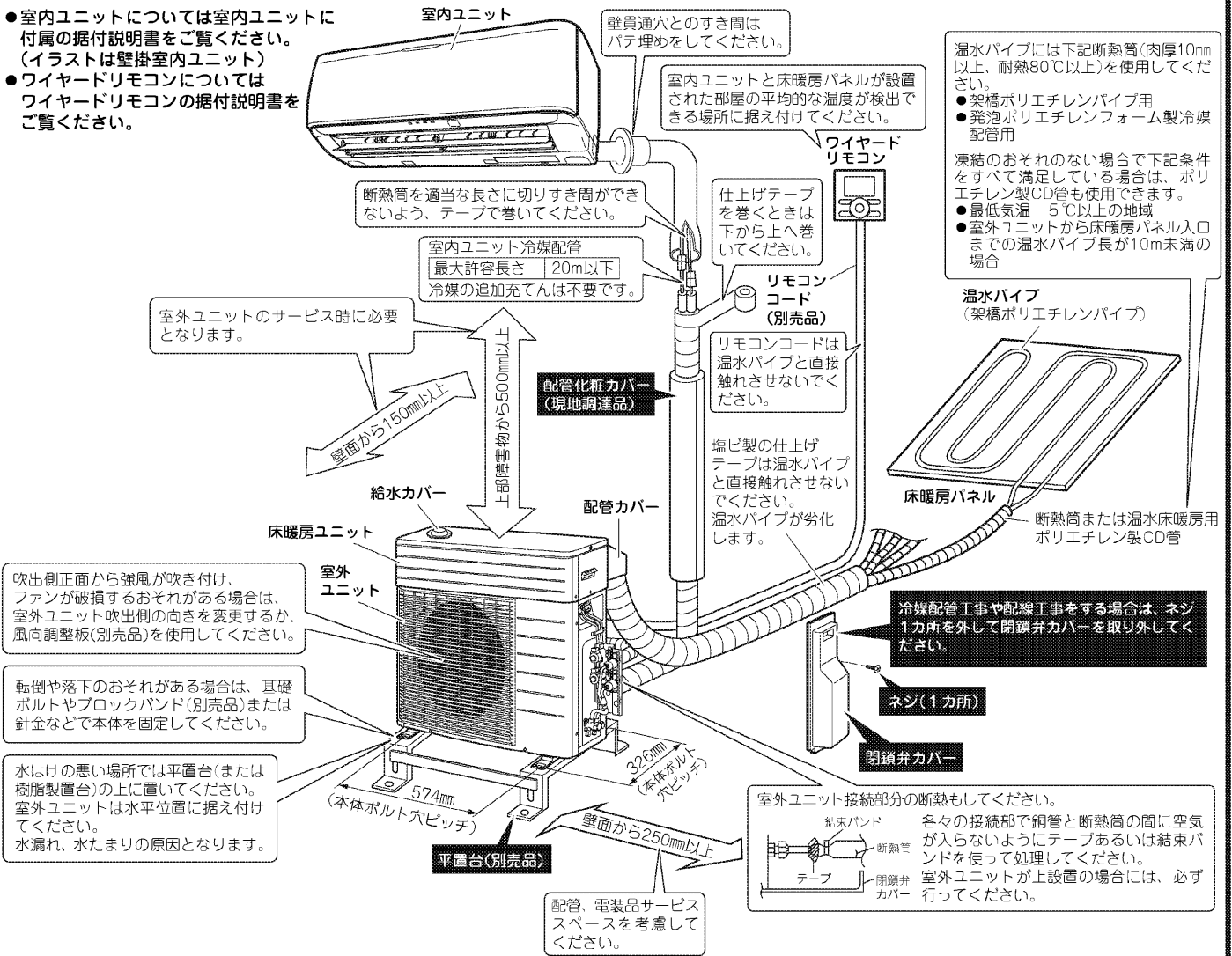
付 属 部 品

※リモコンコードは別売品です。

| リモコンセット(床暖房ユニット内部に梱包しています。) | | | | | | 連絡配管 | 連絡配管カバー | 結束バンド | ドレンソケット | 取扱説明書 (1部) 据付説明書 (2部) 保証書 (1部) |
|---|---|---|---|---|---|--|---|---|---|---|
| ワイヤードリモコン | 木ネジ | 小ネジ | 結束バンド | 配線押さえ | 床暖房ユニット側 結束バンド | | | | | |
|  (1個) |  (2本) |  (2本) |  (1本) |  (1個) |  (1本) |  (1個) |  (1個) |  (1本) |  (1個) | |

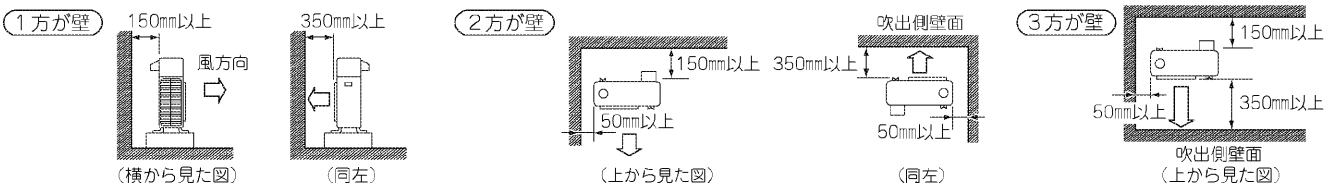
各ユニット据付図

- 室内ユニットについては室内ユニットに付属の据付説明書をご覧ください。(イラストは壁掛室内ユニット)
- ワイヤードリモコンについてはワイヤードリモコンの据付説明書をご覧ください。

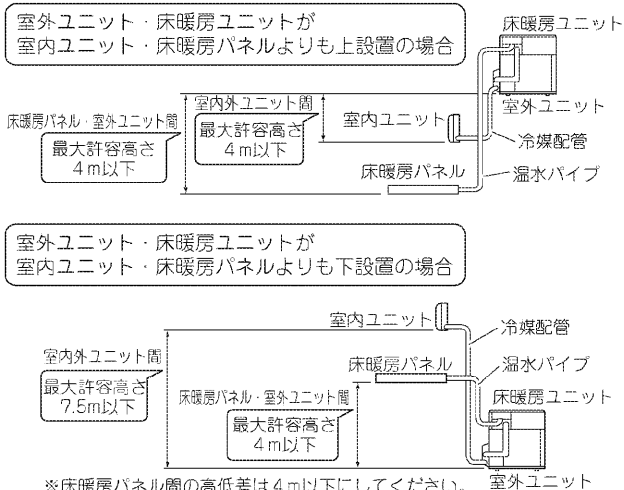


室外ユニット・床暖房ユニットの据付所要スペース

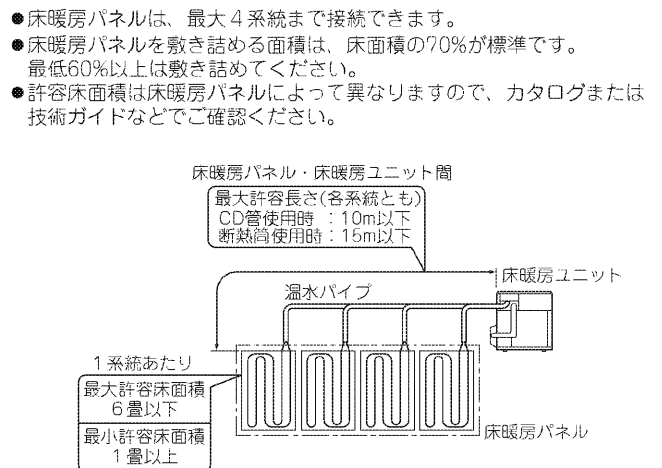
- 室外ユニットの吸込口、および吹出口周辺に壁などの障害物がある場所に据え付ける場合は、下記パターンに従ってください。いずれの据付パターンでも、吹出側壁面高さは1.2m以下としてください。(☒は風方向を示します。)



冷媒配管・温水パイプの最大許容高低差



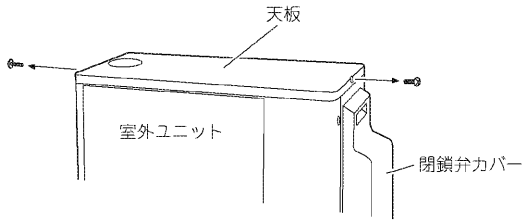
床暖房パネルの許容床面積



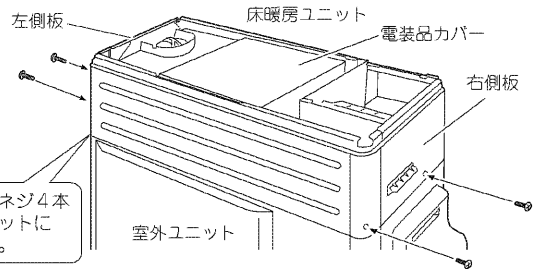
Step 1 床暖房ユニットの据付け

1 床暖房ユニットの据付け

- ①床暖房ユニットの右側板上部のネジ(2本)、左側板上部のネジ(2本)を外しておきます。
(外したネジ4本は後で使用するため、なくさないでください。)
- ②室外ユニットの天板のネジ(2本)を外し、天板を外します。
(外したネジ2本は後で使用するため、なくさないでください。)
- ③室外ユニットの閉鎖弁カバーを外します。



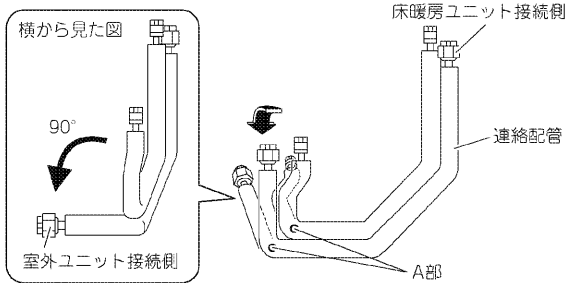
- ④床暖房ユニットを室外ユニットの上に載せます。
(外気温サーミスタのはさみ込みに注意してください。)
- ⑤床暖房ユニットをネジ(4本)で室外ユニットに固定します。
(①で外したネジ4本を使用します。)



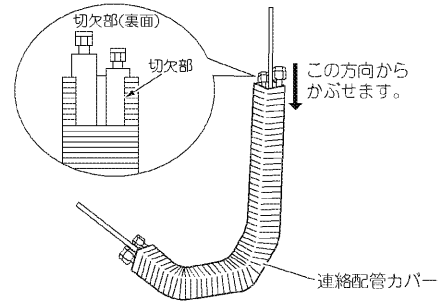
2 冷媒配管の接続

●床暖房ユニットに付属の連絡配管を使用して、床暖房ユニットと室外ユニットを接続します。

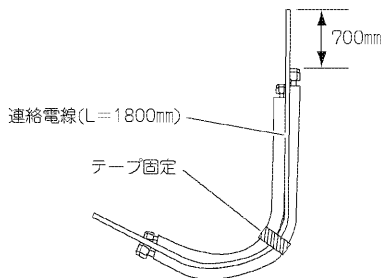
- ①A部(2カ所)を支点にして、矢印の方向へ連絡配管を1本ずつ90°ひねります。



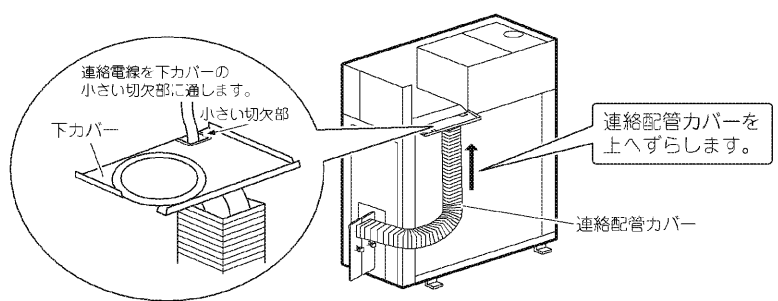
- ③連絡配管カバーの切欠部が図の位置になるようにして、連絡配管にかぶせます。



- ②連絡電線(現地調達品：VVFケーブルφ1.6-3芯)を長さ1800mmに切断し、連絡配管に沿わせて、ビニルテープで固定します。
このとき、連絡電線の端部が図のように700mm長くなるようにします。



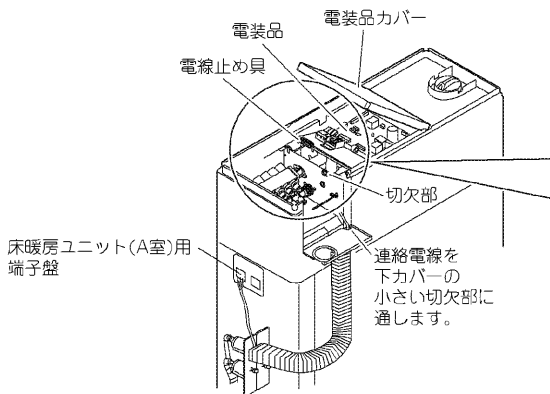
- ④連絡配管を床暖房ユニットと室外ユニットのA室用片ユニオン管継手に接続します。このとき、連絡電線を下カバーの小さい切欠部に通します。
接続終了後、連絡配管カバーを下カバーに触れるまで、上へずらしします。



3 配線工事

- 床暖房ユニットからの連絡電線は、必ず室外ユニットの床暖房ユニット(A室)用端子盤へ接続してください。
- 連絡電線(現地調達品：VVFケーブルφ1.6-3芯)の接続は下図のように行ってください。

電装品カバーをもとどおり取り付けてください。



所定の電線を使い確実に接続してください。

リモコンコードに極性はありません。

電線挿入確認窓を見て電線が確実に挿入されていることを確認してください。端子盤の被覆むきゲージに合わせて被覆むきしてください。(15mm)

端子部に直接外力が加わらないよう確実に固定してください。

付属の床暖房ユニット側結束バンドで固定してください。

付属の結束バンドで固定してください。その際、連絡電線が電装品箱の下を通るように配線してください。

切欠部を通します。
穴を通します。

連絡電線とリモコンコードを一緒に結束バンドで固定してください。

Step2 室外ユニットの据付け

1 室外ユニットの据付け

⚠注意

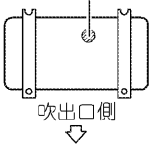
室外ユニットは、小動物(虫やカエルなど)のすみかになるような場所には設置しないでください。(例えば、落ち葉の多い所など)小動物が侵入し発煙・発火の原因になることがあります。また、侵入することを減らすために「置台」を必ず使用し、お客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。

- 室外ユニットの据付けは、**据付場所の選定**、**各ユニット据付図**を参照してください。
- ドレン処理が必要な場合、下記要領でドレン工事を行ってください。

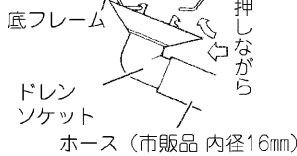
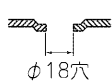
ドレン工事

- ドレン排水するときは、ドレンソケットを使用してください。
- 排水穴が取付台や床面などに隠れる場合は、室外ユニットの脚下に30mm以上の間座を入れてください。

(下から見た図)
ドレン排水穴



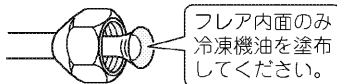
ドレンソケットの取付け



- 寒冷地では、室外ユニットのドレン排水は「タレ流し」にしてください。(ドレンホースを使用すると、ドレン水が底フレーム内で凍結し、暖房効果が損なわれることがあります。)

2 冷媒配管の接続

- 年数の経過によるフレアナットの腐食割れを防ぐため、フレアナットは本体付属のものをご使用ください。
- フレアナットの割れ防止およびガス漏れ防止のため締付け時はトルクレンチをご使用ください。
- ガス漏れ防止のため、フレア内面に冷凍機油を塗ってください。過剰な締付トルクにならないよう、フレア外面やフレアナットのネジ部には冷凍機油を塗布しないでください。(冷凍機油はR410Aのもの(FVC50K)をご使用ください。)



- 冷媒配管接続部は、フレア中心を合わせ最初手回して3~4回転ねじ込み、その後所定のトルクでしっかりと締め付けます。

フレアナット締付トルク

| ガス側 | 液側 |
|---------------------------------|---------------------------------|
| 32.7~39.9N・m (333~407kgf・cm) | 14.2~17.2N・m (144~175kgf・cm) |

| 弁ふた締付トルク | サービスポートキャップ締付トルク |
|--|-----------------------------|
| ● 液側 26.5~32.3N・m (270~330kgf・cm) | 10.8~14.7N・m(110~150kgf・cm) |
| ● ガス側 48.1~59.7N・m (490~610kgf・cm) | |

※ガス管外径φ9.5以外の室内ユニットについては、室内ユニット側の据付説明書を参照してください。

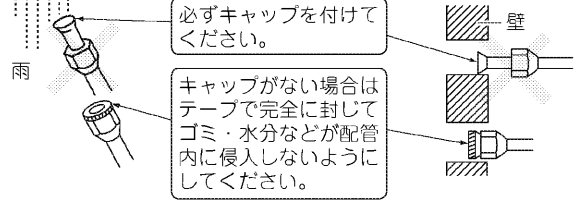
- 床暖房ユニットの場合、床暖房ユニットに付属の連絡配管を使用します。
- 室内ユニット冷媒配管は、現地調達してください。仕様については、**冷媒配管工事について**、**配管の選定と断熱**を参照してください。

⚠注意

閉鎖弁が全閉でも、冷媒が徐々に漏れることがありますので、フレアナットを外した状態で長時間放置しないでください。

冷媒配管工事について

- 配管内にゴミ・水分を入れない。
- 曲げはなるべく少なく、ゆるやかに。曲げる際はパイプベンダーを使用してください。



配管の選定と断熱

- 配管セット(別売品)をおすすめしますが、市販材料使用の場合は次のことを守ってください。

■市販の銅管使用の場合

仕様 C1220T-O(JIS H3300)付着油量40mg/10m以下

■断熱材材質：発泡ポリエチレンフォーム

熱伝導率：0.041~0.052W/mK(0.035~0.045kcal/mh°C)

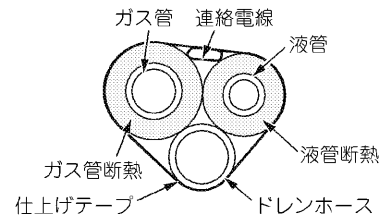
(ただし、ガス管は表面温度が最高110°Cになりますからそれに耐えるものを使用願います。)

- 液管、ガス管共必ず断熱してください。断熱寸法は下記に従ってください。

| ガス管 | 液管 | ガス管断熱 | 液管断熱 |
|------------|------------|-----------|----------|
| 外径9.5mm | 外径6.4mm | 内径12~15mm | 内径8~10mm |
| 肉厚0.8mm | 肉厚0.8mm | 肉厚8~10mm | 肉厚8~10mm |
| 曲げ半径30mm以上 | 曲げ半径30mm以上 | - | - |

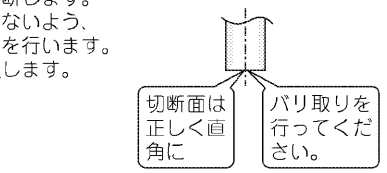
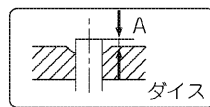
※ガス管外径φ9.5以外の室内ユニットについては、室内ユニット側の据付説明書を参照してください。

- ガス管、液管は分離断熱をしてください。



フレア加工について

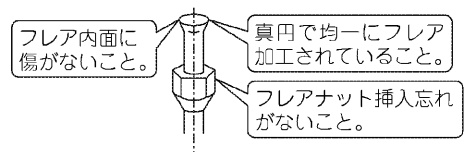
- ① パイプカッターで配管を切断します。
- ② 切粉や異物が配管内に入らないよう、切断面を下にしてバリ取りを行います。
- ③ フレアナットを配管に挿入します。
- ④ フレア加工を行います。



ダイスからの出しろを正しくセットすること。

| A | R410A用フレアツール | 従来のフレアツール | |
|---|--------------|-------------|------------------|
| | クラッチ式 | クラッチ式(リジット) | ウイングナット式(インベリアル) |
| | 0~0.5mm | 1.0~1.5mm | 1.5~2.0mm |

- ⑤ フレア加工が正しく出来ているかチェックします。



⚠警告

フレア加工は正しく確実に行ってください。不備があると、冷媒ガスが漏れる原因になります。

Step2 室外ユニットの据付け(つづき)

3 エアパーズとガス漏れ確認

警告

- 作業中に冷媒ガスが漏れた場合は、換気をしてください。
- 冷凍サイクル内に指定冷媒(R410A)以外の空気やガスなどを混入させないでください。
- ガス漏れ確認を必ず行ってください。

地球環境保護の観点から、エアパーズは、必ず真空ポンプをご使用ください。

- 必ず床暖房ユニット、室内ユニット同時にエアパーズを行ってください。
- R410A専用のツール(ゲージマニホールド、チャージホース、真空ポンプアダプタなど)を使ってください。
- 閉鎖弁の弁棒操作に六角レンチ(対辺4mm)を用意してください。
- 冷媒配管の接続部はすべてトルクレンチを使用し、所定のトルクで締め付けてください。

①ガス側閉鎖弁のサービスポートに、ゲージマニホールドのチャージホース突起側(虫ピンを押し側)を接続します。



②ゲージマニホールドの低圧側バルブ(Lo)を全開、高圧側バルブ(Hi)を全閉にします。(高圧バルブは以降操作しません。)



③真空引きを行い、連成計が -0.1MPa (-76cmHg)になっていることを確認します。(1時間以上の真空引きを推奨します。)



④ゲージマニホールドの低圧側バルブ(Lo)を全閉にし、真空ポンプを停止させます。(4~5分間そのままの状態にし、連成計の針が戻らないことを確認します。連成計の針が戻る場合は、水分の混入や接続部の漏れが考えられます。各接続部の点検およびナットを一旦ゆるめ締め直した後、再度②~④の操作を行ってください。)



⑤液閉鎖弁、ガス閉鎖弁の弁ふたを外します。



⑥液閉鎖弁の弁棒を六角レンチを使って反時計方向に 90° 開き、5秒後に閉じ、ガス漏れ確認を行います。ガス漏れ確認は、室内ユニット側はフレア部周辺を、室外ユニットはフレア部周辺、弁棒周辺を石けん水を塗布してチェックします。チェック後はていねいにふき取ります。



⑦ガス閉鎖弁のサービスポートよりチャージホースを外し、液閉鎖弁、ガス閉鎖弁を全開にします。(弁棒は、あたりがある所で止め、それ以上回さないでください。)



⑧液閉鎖弁、ガス閉鎖弁の弁ふたとサービスポートのキャップをトルクレンチを使って所定のトルクで締め付けます。

Step2 室外ユニットの据付け 2 冷媒配管の接続 を参照してください。

■フロンについて



家庭用エアコンには最大で CO_2 (温暖化ガス)3,600kgに相当するフロン類が封入されています。地球温暖化防止のため、移設・修理・廃棄等に当たってはフロン類の回収が必要です。⑨

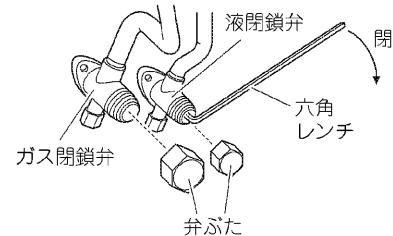
この表示は家庭用エアコンに温暖化ガス(フロン類)が封入されていることを、ご認識いただくための表示です。

ポンプダウン運転について

地球環境保護の観点から、移設時および廃却時には、ポンプダウンを行ってください。

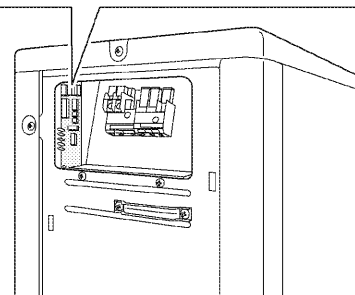
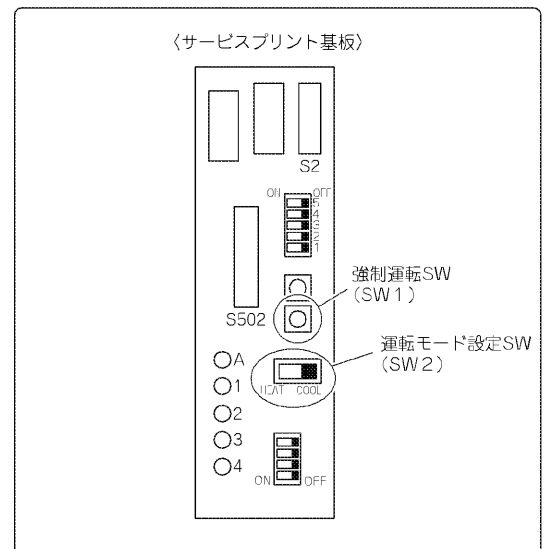
- フロン回収破壊法により、冷媒フロンの回収が必要です。廃却時にはフロン回収事業登録業者に依頼してください。

- ①液閉鎖弁、ガス閉鎖弁の弁ふたを外します。
- ②強制冷房運転を行います。
- ③約5分後、液閉鎖弁を六角レンチを使って閉じます。
- ④2~3分後、ガス閉鎖弁を閉じて、強制冷房運転を停止します。(注)圧縮機保護のため、強制冷房運転開始から15分後には自動停止します。



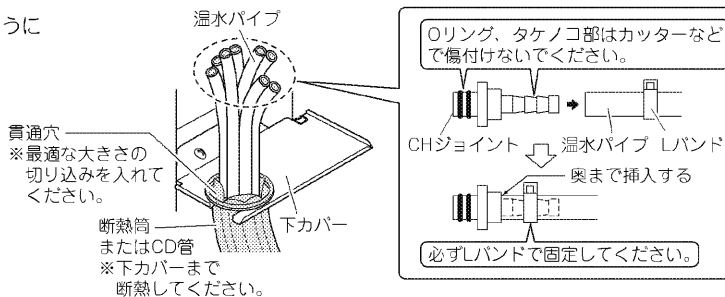
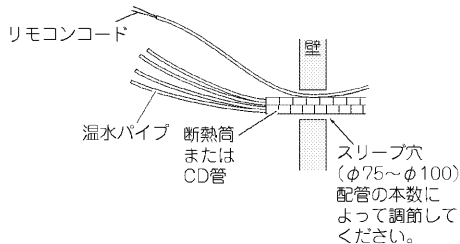
●強制冷房運転のしかた

- ①運転モード設定SW(SW2)を“COOL”にします。
- ②強制運転SW(SW1)を押すと、強制冷房運転を行います。もう一度強制運転SW(SW1)を押すと強制冷房運転を停止します。



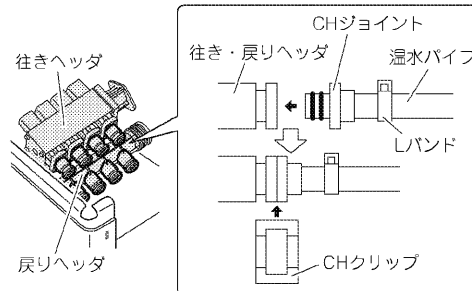
Step3 温水パイプの接続

- ① 温水パイプ、リモコンコードを床暖房ユニットの接続部に十分届くように引き出してください。
- ② 温水パイプを下カバーの貫通穴に通します。
- ③ 温水パイプの先端にCHジョイントを挿入し、バンドで固定します。



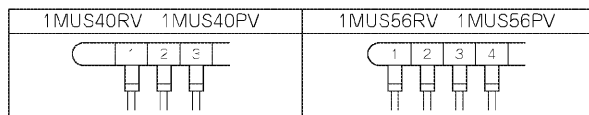
- 温水パイプの中にゴミやホコリが入らないように注意してください。
- CHジョイントは傷やホコリを付けないよう、ていねいに取り扱いしてください。

- ④ 温水パイプのCHジョイントを行きヘッダ、戻りヘッダに挿入し、CHクリップで固定します。
 - CHジョイントが挿入しにくい場合、リングに少量の水道水を塗布すると挿入しやすくなります。
 - 温水は、行きヘッダ→床暖房パネル→戻りヘッダの順に循環します。
 - 床暖房パネルが3系統以下の場合、各ヘッダの1から順に温水パイプを接続します。例えば、床暖房パネルが2系統の場合は、各ヘッダの1・2に温水パイプを接続してください。
 - 温水パイプを接続しないヘッダの接続口には、CH止水栓を挿入し、CHクリップで固定します。



CH止水栓は傷やホコリを付けないよう、ていねいに取り扱いしてください。

- 行きヘッダに表示している数字が**⑤ゾーン設定**の熱動弁の番号です。間違えないようにしてください。

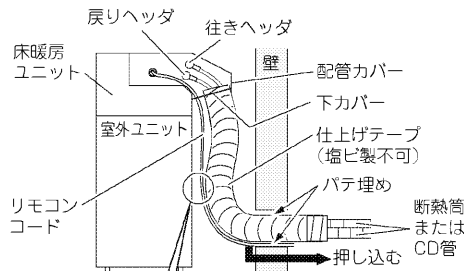


- ⑤ 温水パイプは、仕上げテープ(塩ビ製不可)などで束ねてください。
- ⑥ テープで固定した部分がスリーブ穴の内側に確実に入るように押し込みます。
- ⑦ 雨水や小動物の侵入防止のため、スリーブ穴と仕上げた温水パイプのすき間をパテ埋めしてください。

注意

- 温水パイプには粘着テープ(ガムテープ、ビニルテープなど)や塩ビ系樹脂、リモコンコードを接触させないでください。温水パイプが劣化します。
- 温水パイプには直射日光があたらないようにしてください。施工・養生時ともご注意ください。温水パイプが劣化します。

- ⑧ 取扱説明書の裏表紙の「初期設定の記録」と室外ユニットの天板(裏側)の銘板の「床暖房パネルの記録」に敷設場所、名称、面積、設定したゾーンを記入してください。サービス時に必要となります。
- ⑨ 配管カバー(ツメ4ヵ所)と天板(ネジ2本)を床暖房ユニットに取り付けます。



注意
温水パイプが熱交換器に触れないようにしてください。

夜間静音モード設定について

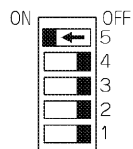
夜間静音モードをご使用になるには、据付け時の初期設定が必要です。お客様へ下記の夜間静音モード機能の説明を行っていただき、夜間静音モード設定の要否を確認してください。

〈夜間静音モードについて〉

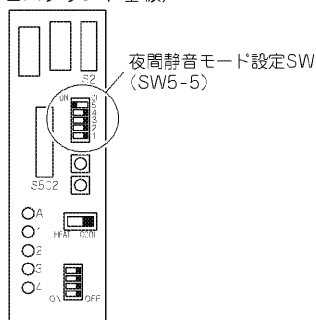
夜間静音モードは、夜間の室外ユニットの運転音を低減する機能です。近隣への運転音を気にされる方に便利な機能です。ただし、夜間静音モードが働くと、冷房/暖房能力をセーブした運転となります。

〈設定のしかた〉

SW5-5をON側にスライドしてください。

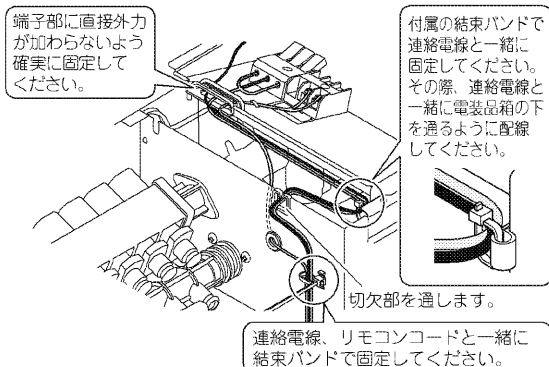


〈サービスプリント基板〉



HAシステムと接続する場合

- ① 床暖房ユニットのプリント基板の「S16」(青色)にHA接続コネクタを取り付けます。
- ② 連絡電線に沿わせて配線し、直接外力が加わらないように結束バンドで固定してください。
 - HA JEM-A のON/OFFは、全ゾーンの運転ON/OFFになります。
 - ワイヤードリモコンとは、後押し優先になります。



Step 4 室外ユニットの配線工事

警告

- 配線の途中接続、より線や延長コードの使用、タコ足配線はしないでください。発熱、感電、火災の原因となります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」[内線規程]に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。電源回路容量不足や施工不備があると、火災、感電の原因になります。

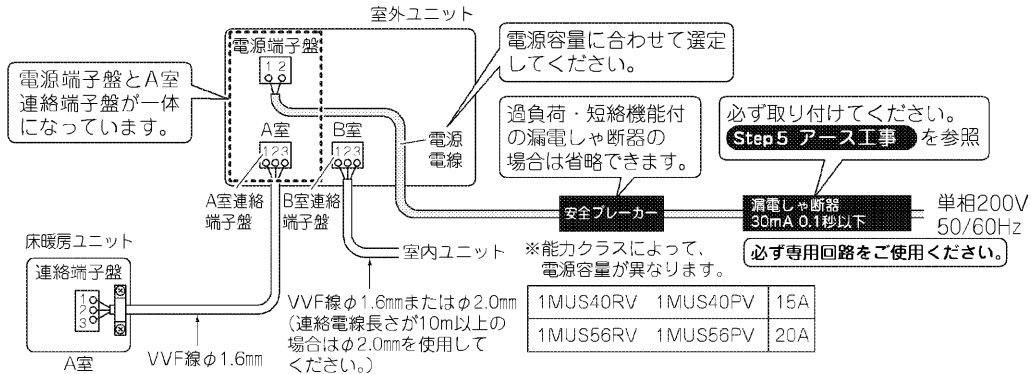
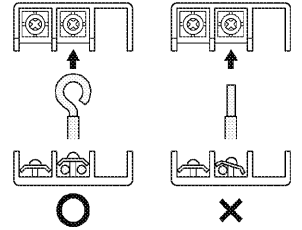
- 安全ブレーカーはすべての作業が終わるまで入れないでください。

電源端子盤接続のしかた

- ①電線の被覆むきを行います。(20mm)
 - ②電源端子盤のネジはしっかりと締め付けてください。
ネジの締付けにはドライバーを使用することを推奨します。
 - ③電線を引っ張り、抜けないことを確かめた後、電線止めバンドで電線を固定します。
- 電気設備技術基準および内線規程に従って施工してください。
 - 必ず漏電しゃ断器の取付け、D種接地工事を行ってください。
漏電しゃ断器が取り付けられていない場合、D種接地工事が不完全な場合、感電や火災の原因になることがあります。

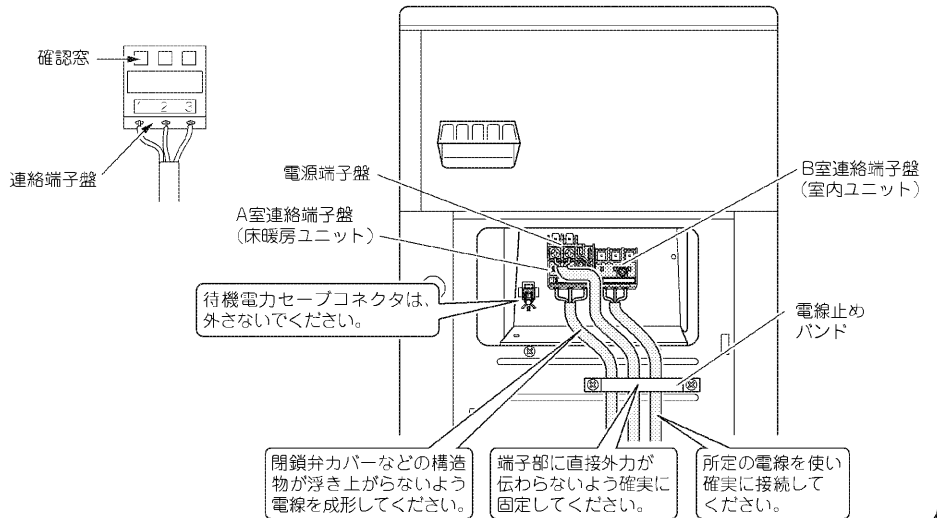
注意

電源端子盤に電線を接続する場合は、必ずカーリングを行ってください。施工不備があると発熱・火災の原因になります。



各室連絡端子盤接続のしかた

- ①電線の被覆むきを行います。(必ず15mm)
- ②連絡電線の端子番号を室内ユニットまたは床暖房ユニットと室外ユニット同士で合わせて接続します。(床暖房ユニットはA室、室内ユニットはB室に接続してください。)
- ③電線の色を確かめ、連絡端子盤のそれぞれの挿入口より奥にあたるまで確実に差し込みます。
- ④確実に電線が挿入されているか確認窓で確かめます。
- ⑤電線を引っ張り、抜けないことを確かめた後、電線止めバンドで電線を固定します。



Step 5 アース工事

- ①アース線をアース端子に接続します。
- ②閉鎖弁カバーを取り付けます。

警告

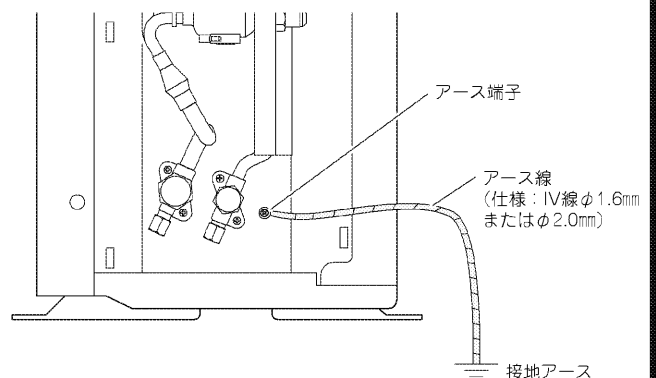
アース工事を行ってください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合、感電や火災の原因になることがあります。

接地の基準

- 漏電しゃ断器(高調波対応品)を取り付け、さらにD種接地工事が必要です。(本機はインバーター装置を有するため、漏電しゃ断器自体の誤動作を防止するため、高調波対応品を使用してください。)

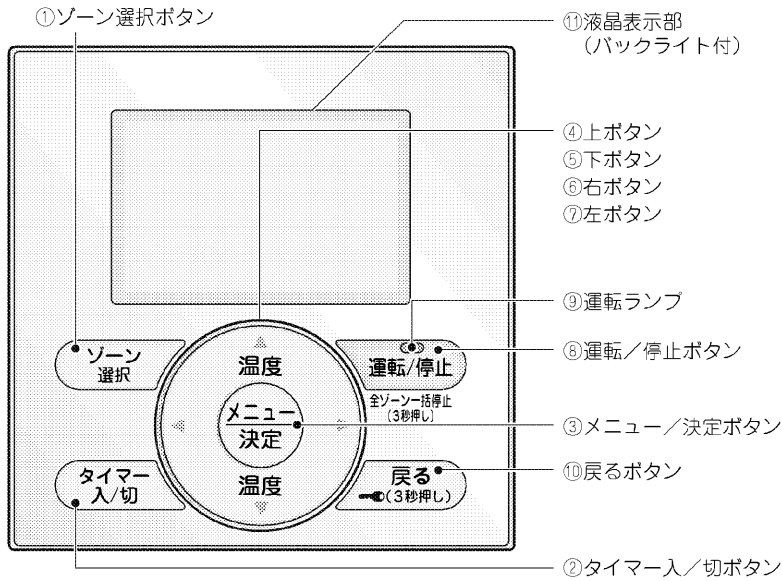
D種接地工事について

- 電気工事士の方が行ってください。
- 漏電しゃ断器(定格感度電流が30mA以下で動作時間が0.1秒以下の電流動作型のもの)を取り付け、接地抵抗は必ず500Ω以下にしてください。



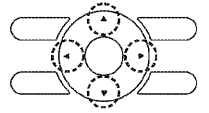
(裏面につづく)

リモコンの各ボタンの機能とメニュー項目



注意

上下左右ボタン操作は、必ずボタンの▲印部を押してください。



- ①ゾーン選択ボタン
ゾーンを切り換えます。
- ②タイマー入/切ボタン
タイマー設定を切り換えます。
- ③メニュー/決定ボタン
 - メニューを表示します。(メニューの詳細内容は取扱説明書をご覧ください。)
 - 設定を決定します。

メニュー一覧

| | |
|-------------|----------|
| タイマー時刻設定 | 水抜き運転 |
| 快適自動 | 温度エリア設定 |
| 時計合せ | ゾーン名登録 |
| サービス連絡先/機種名 | コントラスト設定 |
| 給水運転 | バックライト設定 |

- ④上ボタン▲
 - 設定温度を上げます。
 - 反転表示を上方向へ移動させます。
 - 選択項目を変更します。
- ⑤下ボタン▼
 - 設定温度を下げます。
 - 反転表示を下方向へ移動させます。
 - 選択項目を変更します。
- ⑥右ボタン▶
 - 反転表示を右方向へ移動させます。
- ⑦左ボタン◀
 - 反転表示を左方向へ移動させます。
- ⑧運転/停止ボタン
1度押すと運転し、もう1度押すと停止します。

- ⑨運転ランプ
運転中、緑色に点灯します。異常時には点滅します。
- ⑩戻るボタン
 - 基本画面に戻ります。
 - 約3秒間長押しでチャイルドロックを設定します。
 - 基本画面で「戻る」ボタンを先に押しながら、「タイマー入/切」ボタンを約10秒間長押しで、現地設定メニューが表示されます。(床暖運転停止中のみ有効です。)

現地設定メニュー一覧

| | |
|---------|-----------|
| パネル種類設定 | 試運転 |
| 循環液設定 | 温度エリア設定 |
| ゾーン設定 | ゾーン名登録 |
| 給水運転 | サービス連絡先登録 |

- ⑪液晶表示部(バックライト付)
操作ボタンのいずれかを押しとバックライトが約30秒間点灯します。

1 電源投入

- ※本機は **200V専用室外電源機** です。
- 室外ユニットの配線工事が完了しているか確認してください。
 - 電源投入前に、右記の内容が完了していることを確認してください。
 - 電源投入前に、室内ユニットに付属の据付説明書をもとに確認項目を確認してください。

1. 電源投入後、次の表示が出ます。
“接続確認中 しばらくお待ちください”

[2つのリモコンで制御する場合]

付属リモコンがメインリモコン、増設リモコンがサブリモコンです。

現地設定は、メインリモコンで行ってください。

| メインリモコン | サブリモコン |
|----------------------|----------------------|
| ARC454A1 (付属リモコン) | KRC986A1 (増設リモコン) |

確認項目

チェック項目 欄でチェック(☑)をしてください。

| チェック項目 | 不良の場合 |
|---|-----------|
| <input type="checkbox"/> 安全ブレーカー1次側で電圧を測定し、200Vであることを確認してください。 | 運転不能 |
| <input type="checkbox"/> 漏電しゃ断器は取り付けましたか。 | 漏電時危険 |
| <input type="checkbox"/> D種接地工事は確実ですか。 | 漏電時危険 |
| <input type="checkbox"/> 室外ユニットはしっかり据え付けられていますか。 | 振動・騒音・落下 |
| <input type="checkbox"/> ドレンの排水は確実ですか。 | 水漏れ・故障 |
| <input type="checkbox"/> 電線は正しく接続されていますか。 (「電源端子盤」と「リモコン端子盤」は間違わないように注意してください。) | 暖まらない・焼損 |
| <input type="checkbox"/> 電線は仕様どおりですか。 | 運転不能・焼損 |
| <input type="checkbox"/> 室外ユニットの吸込口、吹出口が障害物でふさがっていませんか。 | 暖まらない |
| <input type="checkbox"/> 温水パイプの断熱は十分ですか。 | 凍結 |
| <input type="checkbox"/> 温水パイプの接続は確実ですか。 ●温水パイプを接続しないヘッダの接続口には、CH止水栓を挿入し、CHクリップで固定していますか。 ●温水パイプのCHジョイントを往きヘッダ、戻りヘッダに挿入し、CHクリップで固定していますか。 | 水漏れ・暖まらない |
| <input type="checkbox"/> 1系統あたりの床暖房パネルは1~6畳は確保できていますか。 | 暖まらない |
| <input type="checkbox"/> 取扱説明書の裏表紙の「初期設定の記録」と室外ユニットの天板(裏側)の銘板の「床暖房パネルの記録」を記入しましたか。 | 点検時情報不足 |
| <input type="checkbox"/> 床暖房ユニットの電装品カバーはもとどおり取り付けましたか。 | 焼損 |
| <input type="checkbox"/> 床暖房ユニットはA室、室内ユニットはB室に配線を接続していますか。 | 運転不能、機能不良 |

② 現地設定メニュー

- 基本画面で「戻る」ボタンを先に押しながら、「タイマー入/切」ボタンを約10秒間長押しする。(初回電源投入時は、長押しは不要です。)
- 現地設定警告画面が表示される。「メニュー/決定」ボタンを押す。
- 現地設定確認画面が表示される。「◀▶」ボタンで「はい」を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
- 現地設定のメニュー画面が表示される。メニュー一覧の内容は、以下の通りです。

現地設定メニュー一覧

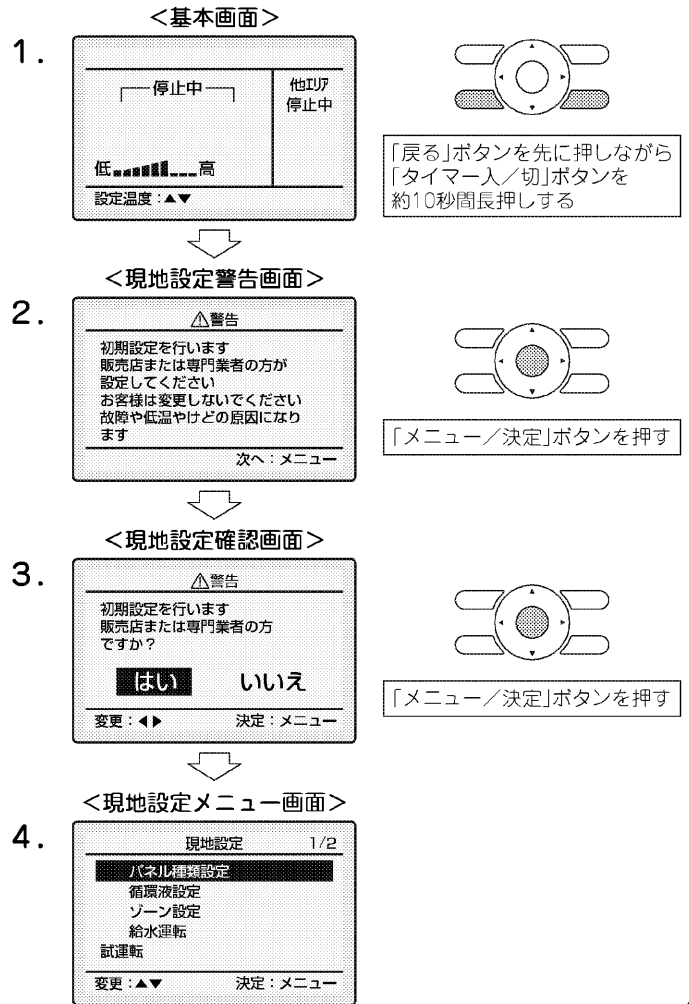
| | |
|-----------|---|
| パネル種類設定 | ※ |
| 循環液設定 | |
| ゾーン設定 | |
| 給水運転 | |
| 試運転 | |
| 温度エリア設定 | |
| ゾーン名登録 | |
| サービス連絡先登録 | |

※必ず設定してください。

設定が完了すると「戻る」ボタンで基本画面に戻ることができます。

⑥試運転 現地設定メニューの設定を変更した場合を参照してください。

ただし、※部の設定が完了していないと基本画面に戻ることができません。



③ パネル種類設定

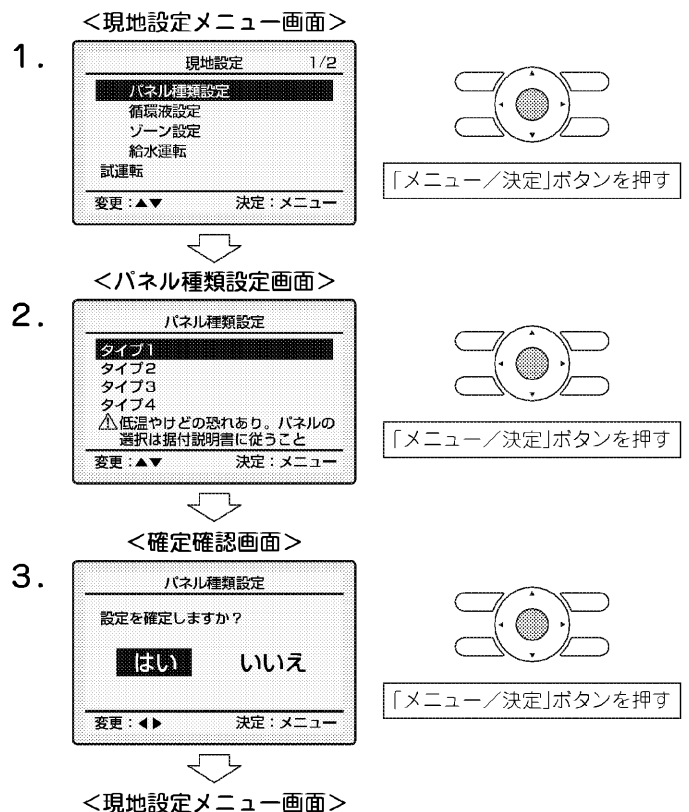
- 現地設定メニュー画面で、「パネル種類設定」を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
- パネルタイプを選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

| パネル種類 | パネル名 | 行き水温 |
|-------|---|--------|
| タイプ1 | ホットエコフロアパネル(床材7mm)、エコリード | 45~50℃ |
| タイプ2 | ホットエコフロアパネル、はるびより、ほっとびあN12+リネア、ほっとびあJ11 | 50~55℃ |
| タイプ3 | ほっとびあA12(N12)、ほっとびあG12、G15、キュア真打、はるびよりツイン12 | 55~60℃ |
| タイプ4 | タイプ3のパネルで暖まりが悪い場合のみ設定してください。 | 60℃ |

- 上記以外のパネルに関しては、パネルメーカーにお問い合わせください。低温やけどのおそれのない設定にしてください。
- 床材は12mmが標準です。薄い床材を使用する場合は注意してください。

- 「はい」を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

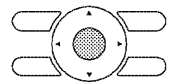
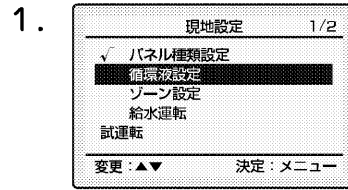
パネル種類設定画面で「戻る」ボタンを押すと現地設定メニュー画面に戻る。



4 循環液設定

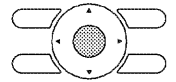
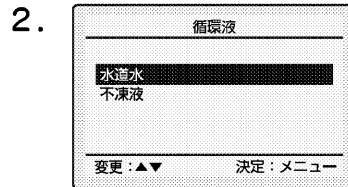
1. 現地設定メニュー画面で、**循環液設定** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
2. 水道水か不凍液を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
●凍結のおそれがある場合は、不凍液を使用してください。
3. **はい** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

<現地設定メニュー画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

<循環液設定画面>

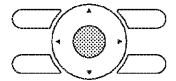


「メニュー/決定」ボタンを押す

3. <確定確認画面>



<現地設定メニュー画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

5 ゾーン設定

●お客様と相談の上、設定してください。

1. 現地設定メニュー画面で、**ゾーン設定** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
2. 熱動弁の数機種によって異なるため、(ゾーン設定画面)も異なります。

| 機種名 | 熱動弁の数 | 選定できるゾーン | ゾーン設定初期画面 | | | | | | | | | | |
|----------------------|-------|----------|---|-----|---|---|---|-----|-----|---|---|---|---|
| 1MUS40RV 1MUS40PV | 3 | A,B,C | <table border="1"> <tr> <td>熱動弁</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>ゾーン</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> </tr> </table> | 熱動弁 | 1 | 2 | 3 | ゾーン | A | A | A | | |
| 熱動弁 | 1 | 2 | 3 | | | | | | | | | | |
| ゾーン | A | A | A | | | | | | | | | | |
| 1MUS56RV 1MUS56PV | 4 | A,B,C,D | <table border="1"> <tr> <td>熱動弁</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>ゾーン</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> </tr> </table> | 熱動弁 | 1 | 2 | 3 | 4 | ゾーン | A | A | A | A |
| 熱動弁 | 1 | 2 | 3 | 4 | | | | | | | | | |
| ゾーン | A | A | A | A | | | | | | | | | |

「◀▶」ボタンで熱動弁1、2、3、(4)を選択します。
「▲▼」ボタンでそれぞれのゾーンをA,B,C,(D)の中から選択してください。
温水パイプを接続しない熱動弁は“-”を設定してください。
ゾーンについての詳細は取扱説明書をご覧ください。

3. ゾーンを設定したら、「メニュー/決定」ボタンを押す。

※ゾーンはABCの順番で設定してください。

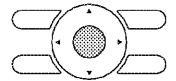
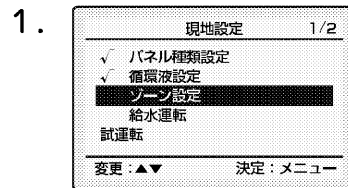
ABDのようにCを飛ばした場合、
ゾーン設定不良画面が表示されます。

【例】正しい設定……ABC AAB
間違った設定……ACD ACC

間違った設定の場合、「メニュー/決定」ボタンで
ゾーン設定画面に戻り、もう一度設定し直してください。

4. 正しい設定の場合、ゾーン設定確定確認画面が表示される。
はい を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

<現地設定メニュー画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

<ゾーン設定画面>

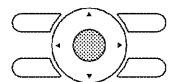
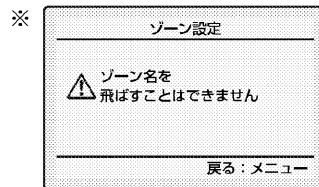


(1MUS56RVの設定例)



(1MUS40RVの設定例)

※ <ゾーン設定不良画面>

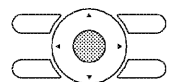


「メニュー/決定」ボタンを押す

4. <確定確認画面>



<現地設定メニュー画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

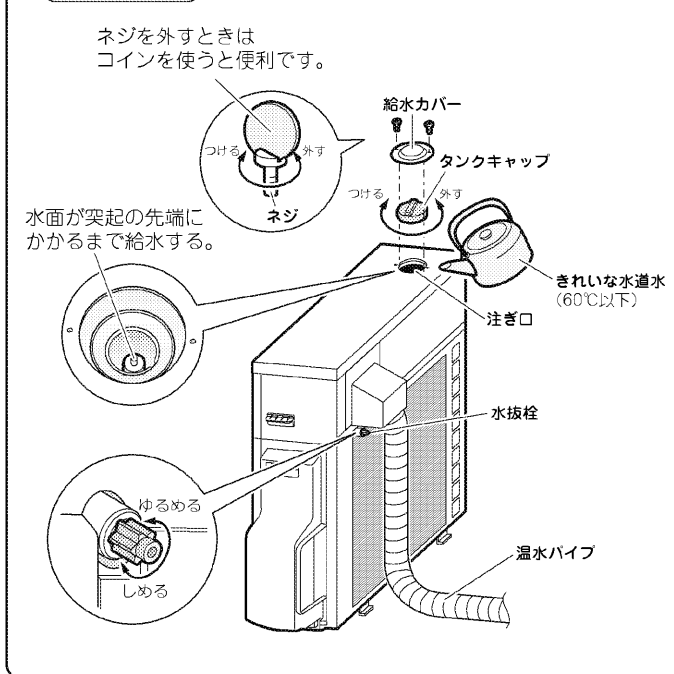
⑥ 給水運転 ①

⚠注意

- きれいな水道水(60℃以下)をご使用ください。井戸水、工業用水、添加剤、ゴミなどは入れないでください。
- 不凍液を使用される場合は、指定の不凍液KM-37を使用してください。不備があると、故障の原因になります。

1. 現地設定メニュー画面で、**給水運転** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
2. **次へ** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
3. **次へ** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。下記「給水のしかた」の要領で給水してください。
 - 給水せずにポンプを運転すると、ポンプの故障原因になります。

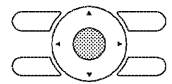
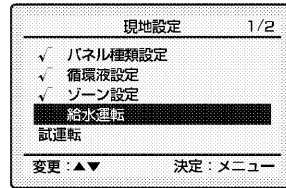
給水のしかた



4. **次へ** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。給水運転が開始する。
5. 給水運転は、約7分で自動的に終了する。水位が下がるので給水タンクの水位ゲージ上端(給水タンク内の突起の先端)まで水を補給してください。
6. 給水運転が終了すると、給水運転完了確認画面が表示される。**はい** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

<現地設定メニュー画面>

1.

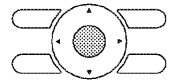
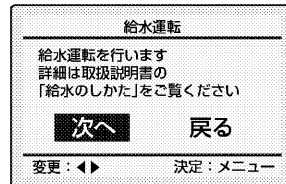


「メニュー/決定」ボタンを押す



<給水運転開始画面>

2.

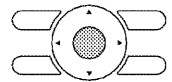
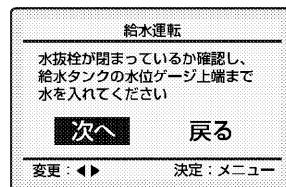


「メニュー/決定」ボタンを押す



<給水確認画面>

3.

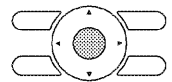
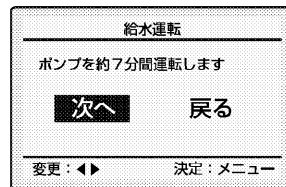


「メニュー/決定」ボタンを押す



<給水ポンプ運転画面>

4.

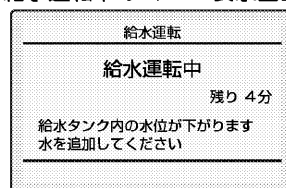


「メニュー/決定」ボタンを押す



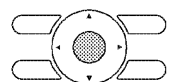
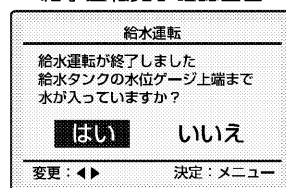
<給水運転中 タイマー表示画面>

5.



<給水運転完了確認画面>

6.

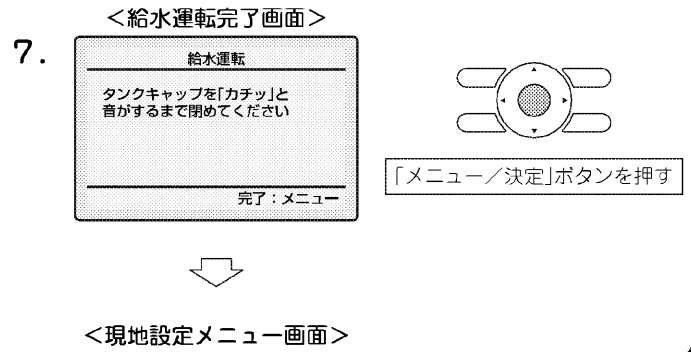


「メニュー/決定」ボタンを押す



⑦ 給水運転 ②

7. 給水運転完了画面が表示される。
「メニュー／決定」ボタンを押す。
給水運転を終了し、現地設定メニューに戻る。

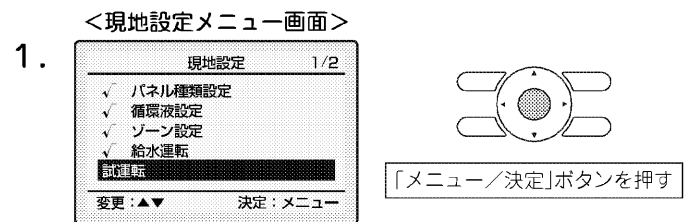


⑧ 試運転

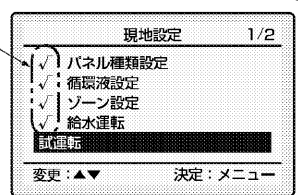
お知らせ

- 屋外温度が24℃を超える場合は、リモコンの **試運転** を選択せず、設定終了後、全ゾーンでの運転を行ってください。

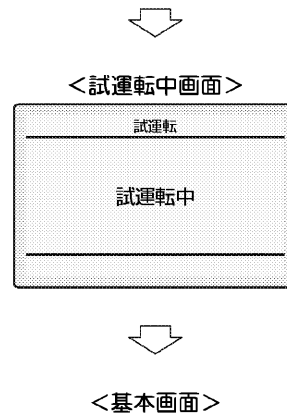
1. 現地設定メニュー画面で **試運転** を選択し、「メニュー／決定」ボタンを押す。



「✓」が表示されていることを確認してください。
「✓」はすでに設定していることを示します。
「パネル種類設定」、「循環液設定」、「ゾーン設定」、「給水運転」は試運転前に必ず設定してください。



2. 試運転中画面が表示される。
●約50分間運転後、自動的に停止し、基本画面に戻る。



試運転時の注意

- リモコンの表示に従って行ってください。
- 屋外温度が24℃を超えている場合は、リモコンの試運転を選択しないでください。
- リモコンに異常コード「U2」が表示された場合は、電源電圧を確認してください。
- リモコンに「給水運転を行ってください」が表示された場合は、水位、配管詰まり、誤配管、ゾーン設定間違い、パネル制約不良を確認してください。

| | |
|-----|---|
| 異常時 | 修正した後に給水運転を行い、もう一度試運転を行う。 |
| 正常時 | 給水運転を行った後、試運転として全ゾーン運転を行う。(屋外温度が24℃を超えると、運転範囲を超えているので、試運転時に「給水運転を行ってください」と表示する場合があります。) |

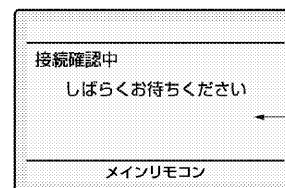
試運転後の注意

- 室外ユニットを運転していないときでも、水の凍結防止や水あかの付着防止のため、自動的にポンプを運転しますので、作業終了後もプレーカーを入れておいてください。
水も常に入れたままにしておいてください。
- 冬期にお客様への引き渡しまでに電源プレーカーを切られる場合には、凍結による機器の故障を防ぐため必ず水抜きを行ってください。
引き渡し時に給水してください。(指定不凍液を使用の場合は、水抜きを行わないでください。)詳細は取扱説明書をご覧ください。

現地設定メニューの設定を変更した場合

各設定確定後、「戻る」ボタンを押すと、
下画面が表示され、基本画面に戻ります。

<現地設定メニュー画面>



バックライトは
消灯します。

<基本画面>

9 温度エリア設定

※取扱説明書を確認しながら、お客様と相談の上、設定してください。

1. 現地設定メニュー画面で、**温度エリア設定** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

2. 「◀▶」ボタンでゾーンA、B、C、Dを選択し、「▲▼」ボタンでそれぞれエリアを設定する。
“I”が“II”を選択してください。

⑥ゾーン設定で設定しなかったゾーンは表示されません。

注)付属リモコンの場合

エリアIがメインエリアになります。

エリアIIが他エリアになります。

増設リモコンの場合

エリアIが他エリアになります。

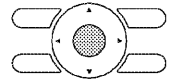
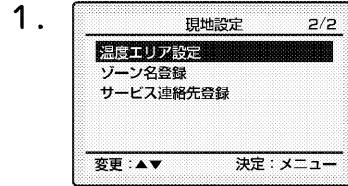
エリアIIがメインエリアになります。

※エリアについての詳細は取扱説明書をご覧ください。

すべてのゾーンにエリアを設定し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

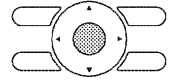
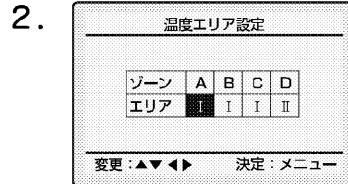
3. **はい** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

<現地設定メニュー画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

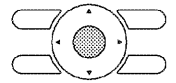
<温度エリア設定画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

3. <確定確認画面>

<現地設定メニュー画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

10 ゾーン名登録

※取扱説明書を確認しながら、お客様と相談の上、設定してください。
以下のゾーン登録名から選択してください。

| | | |
|-------|-------|------|
| リビング1 | 子供部屋1 | 洗面所 |
| リビング2 | 子供部屋2 | トイレ |
| ダイニング | 寝室1 | 風呂 |
| キッチン | 寝室2 | 登録なし |

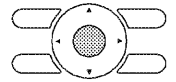
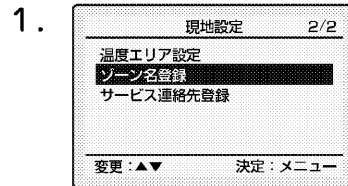
1. 現地設定メニュー画面で、**ゾーン名登録** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

2. ゾーンAを選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

3. ゾーン名を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
他のゾーンも2、3の手順で登録する。

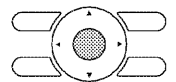
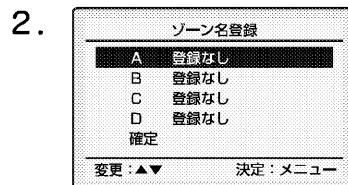
4. すべてのゾーン名の登録後、**確定** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

<現地設定メニュー画面>



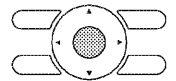
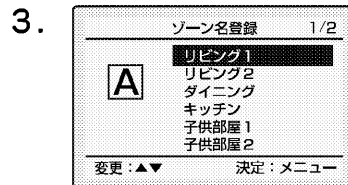
「メニュー/決定」ボタンを押す

<ゾーン名登録時ゾーン選択画面>



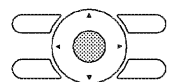
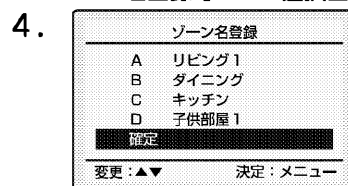
「メニュー/決定」ボタンを押す

<ゾーン名登録画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

<ゾーン名登録時ゾーン選択画面>

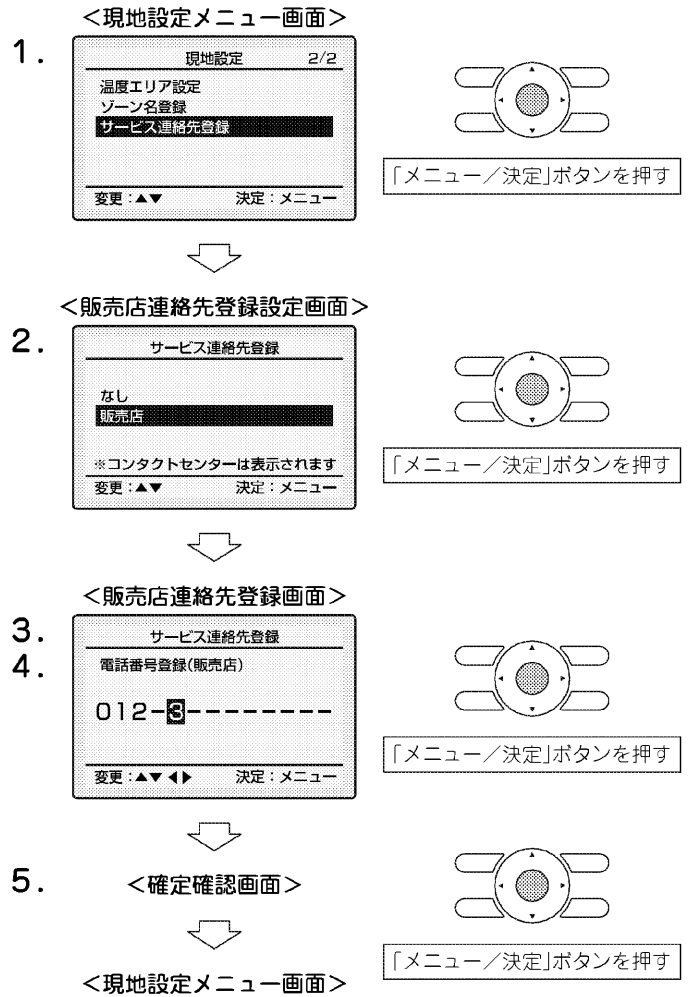


「メニュー/決定」ボタンを押す

<現地設定メニュー画面>

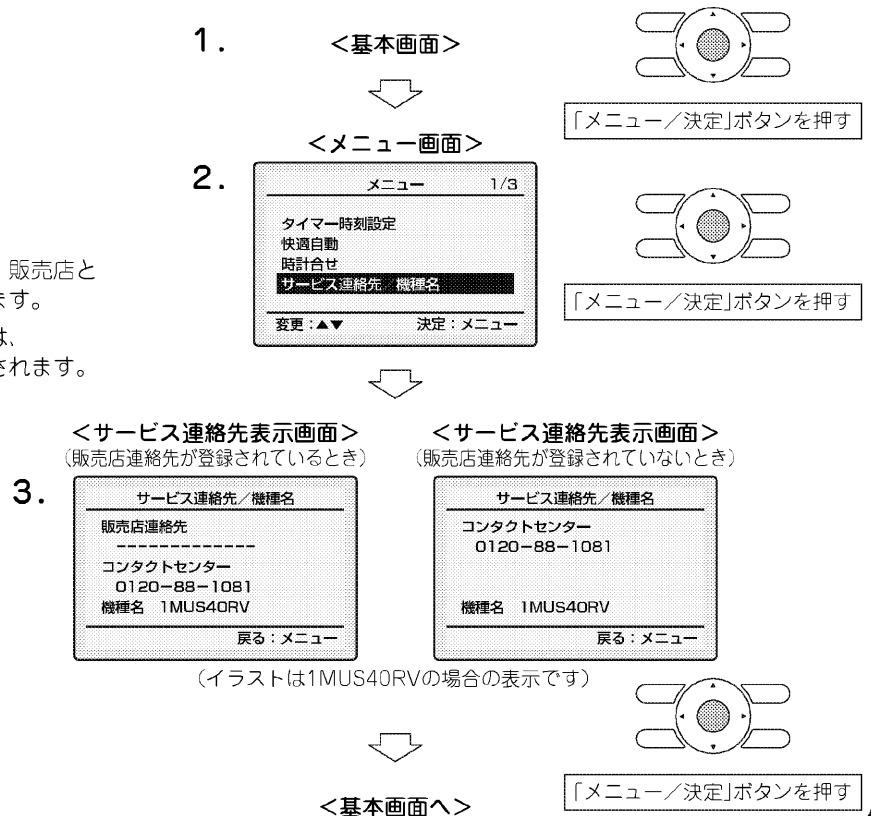
11 サービス連絡先登録

1. 現地設定メニュー画面で、**サービス連絡先登録** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
2. **販売店** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
3. 「◀▶」ボタンで位置を選択し、「▲▼」ボタンで電話番号を入力する。
 - 左づめで入力し、余った桁は“-”のままにします。
 - ※電話番号の間違いにご注意ください。
4. 登録後、「メニュー/決定」ボタンを押す。
5. 確定確認画面が表示される。**はい** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。



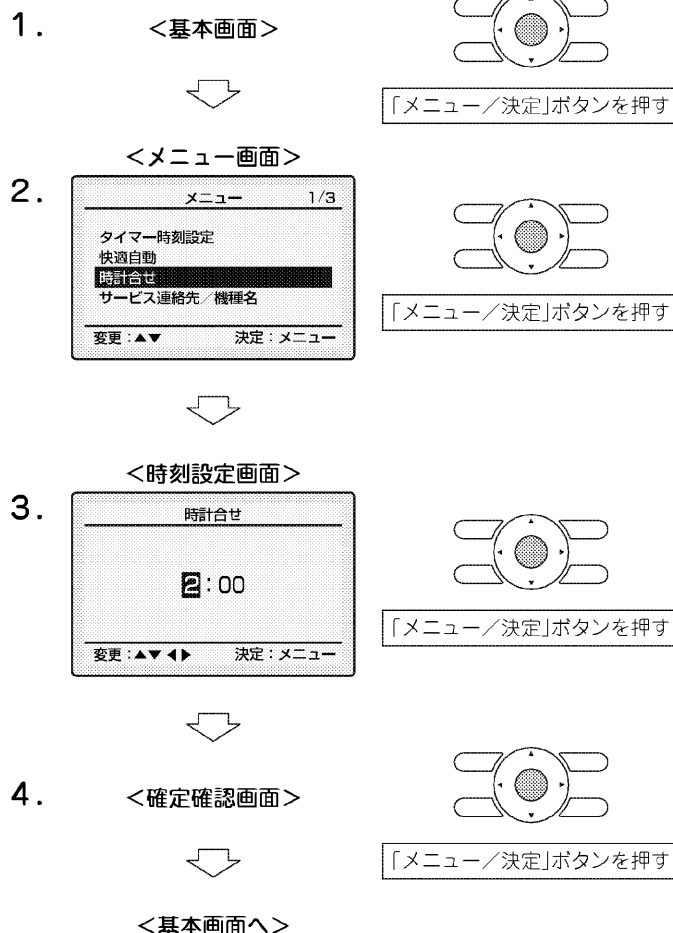
登録内容の確認

1. 基本画面で、「メニュー/決定」ボタンを押す。
2. **サービス連絡先/機種名** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
3. サービス連絡先表示画面が表示される。
 - 販売店の電話番号が登録されている場合は、販売店とコンタクトセンターの電話番号が表示されます。
 - 販売店の電話番号が登録されていない場合は、コンタクトセンターの電話番号のみが表示されます。
 「メニュー/決定」ボタンで、基本画面に戻る。



12 時計合せ

1. 基本画面で、「メニュー／決定」ボタンを押す。
2. メニュー画面が表示される。
「時計合せ」を選択し、「メニュー／決定」ボタンを押す。
3. 「◀▶」ボタンで位置を選択し、「▲▼」ボタンで【時(0~23)】【分(00~59)】を設定、「メニュー／決定」ボタンを押す。
4. 「はい」を選択し、「メニュー／決定」ボタンを押す。
設定した内容が確定され、基本画面に戻る。
 - 2台のリモコンを使用している場合は、片方を時刻設定するともう一方も同じ時刻に設定されます。
(最大1分のずれがあります。)



室内ユニットの試運転

- 試運転開始前に、室内ユニットに付属の据付説明書をもとに確認項目を確認してください。
 - ①室内ユニット付属のリモコンにて室内ユニットを運転させてください。
 - 冷房運転のときは、いちばん設定温度の低い温度に、暖房運転のときは、いちばん高い温度に合わせてください。
(室内温度によっては、冷房・暖房どちらか一方しか運転できないことがあります。)
 - 停止後すぐに運転しても約3分間(冷房・暖房)運転しません。
 - 試運転のチェックは、冷房・暖房それぞれ行ってください。
 - 冷房運転すると、ガス閉鎖弁などに霜が付着することがありますが、異常ではありません。
 - ②約20分運転後、室内ユニットの吸込温度と吹出温度を測定します。下表の値以上であれば正常です。

| | 冷房 | 暖房 |
|-----------|-----|------|
| 吹出と吸込の温度差 | 約8℃ | 約20℃ |

(1室運転時)

- ③室内ユニットに付属の取扱説明書をもとに運転操作を行い、異常なく作動することを確認してください。

お願い

- 保証書に必要事項(床暖房ユニットの機種名、製造番号)を記入し、お客様にお渡しください。
(床暖房ユニットには保証書を付属していません。)
- 取扱説明書の裏表紙の「初期設定の記録」に初期設定情報を記入し、お客様にお渡しください。
- 取扱説明書を見ながらお客様に実際に操作していただき、正しい運転のしかた(特に運転操作のしかた、および温度調節のしかた)をご説明ください。